

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座では、下記の人を対象とする医学系研究に協力します。関係各位のご理解と御協力をお願い申し上げます。

2019年7月 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座 教授 小島祥敬

【研究課題名】

有転移腎癌の予後と予後因子の探索（多施設共同研究）

【研究期間】

2019年7月～2023年3月

【研究の意義・目的】

転移を有する腎癌は、緩徐に進行する方から急速に進行する方まで幅広いことが知られています。また、ここ20年の間に転移を有する腎癌に対する治療方法は大きく変化しており、今後も変わっていくことが予想されています。私たちは、転移を有する腎癌の患者さんの予後と、予後を予測する因子を検討し、これまでよりも正確に予後を予測するモデルを作成したり、それぞれの患者さんにあった治療が何かを調べるために、転移を有する腎癌と診断された患者さんの臨床データを集積、解析を行います。

【研究の対象】

2008年1月から2018年5月に、転移を有する腎癌と診断され、福島県立医科大学附属病院で治療を受けた患者さんを対象とします。

【研究の方法】

本研究は、対象者の診療録から以下の情報を抽出します。情報は、山形大学医学部腎泌尿器外科学講座に電子配信してデータベース化されます。データベース化された情報が共同研究先に配布され、各施設でデータ解析されます。得られた知見は学会や論文として公表いたしますが、個人情報公表されることはありません。

性別、誕生日、腎癌初診日、転移診断日、最終観察日、転帰、他院紹介日、他院紹介で転記がわからないか、他院紹介後積極的加療の有無、原発巣手術の有無、原発巣手術日、原発巣手術前の全身治療の有無、転移巣切除の有無、初回転移巣手術日、転移切除で完全切除となったか、完全切除となった場合再発日、ステージ、病理学的事項、腎癌診断時の臨床検査項目（ECOGPS、WBC、Hb、血小板、好中球、リンパ球、LDH、ALP、カルシウム、アルブミン、CRP、肺転移、脳転移、肝転移、副腎転移、膵転移、骨転移、所属

外リンパ節転移、その他転移)、一次全身治療開始日、一次治療増悪日(もしくは最終評価日)、一次治療終了日(もしくは最終投与日)、一次治療の状態(無増悪継続、増悪継続、有害事象中止無増悪次治療移行、有害事象中止増悪、一次治療中死亡)、一次全身治療開始前後での骨修飾剤の有無、一次治療薬、全期間での骨修飾剤の有無、全期間でのI_o薬の有無、全身治療開始前の臨床項目(腎癌診断時と同様の項目)等

【研究組織】

本研究は、山形大学、弘前大学、秋田大学、岩手医科大学、東北大学、東北医科薬科大学、筑波大学、宮城県立がんセンターとの多施設共同研究です。

研究代表者 内藤整

山形大学医学部腎泌尿器外科学講座

住所：山形県山形市飯田西 2-2-2

TEL：023-628-5370

〈本学の研究実施体制〉

研究責任者	泌尿器科学講座	教授	小島祥敬
研究分担者	泌尿器科学講座	准教授	羽賀宣博
	泌尿器科学講座	講師	小川総一郎
	泌尿器科学講座	講師	片岡政雄
	泌尿器科学講座	講師	赤井畑秀則

【情報の提供方法】

得られたデータを匿名化し、パスワード付きのファイルとしてメールで送付いたします。

提供先：山形大学医学部腎泌尿器外科学講座 研究代表者 内藤整

【お問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座

小川総一郎（講師）

作成日:2019年6月3日(第1版)

住所:〒960-1295 福島県福島市光が丘1

TEL:024-547-1316